

# 紹介患者さんを一人でも増やすために ～帝京大学の医療連携活動について～

帝京大学医学部附属病院 医療連携・相談部 部長、  
帝京大学医学部外科学講座 教授

佐野圭二



## 1、はじめに

平成23年4月1日より帝京大学医学部附属病院医療連携・相談部の部長に就任しました佐野圭二と申します。自己紹介につきましては池下久弥先生（1期生）のご厚意により帝京大学医学部同窓会ニュース最新号（平成23年7月第5号）に

書かせていただきましたのでここでは割愛させていただきます。同窓会の皆様と最初にお知り合いになれたのは平成22年4月1日付で同大学医学部外科学講座に赴任したその7か月後の11月21日、同窓会（京王プラザホテルにて）に初めて参加させていただき、初めて皆様にご挨拶させていただきました。その時には医療連携関連のポストにつくなど思いもしていませんでしたが、本年6月11日、当院医療連携・相談部の部長としてはじめて帝京東京医会総会（京王プラザホテルにて）に参加させていただきました。そこであらためて激励のお言葉を頂くとともに現在当院が抱える医療連携の問題点、特に紹介患者さんに対する対応のまずさを厳しくご指摘いただき、改善すべき点の多いことを痛感いたしました。

今回再び池下先生のお計らいで、われわれの考えを皆様にご知っていただく絶好の機会を頂きましたので、皆様ご指摘の問題点を含め当院の医療連携の問題点を初診患者数の観点から分析・考察し、そしてさらにわれわれのめざす医療連携について書かせていただいて、今後ともさらに皆様からのご指導ご鞭撻、そしてご協力を賜りたいと考えております。

## 2、初診患者数について

### 背景

帝京大学医学部附属病院は、昭和46年9月に開院し、平成21年5月に現在の新病院棟に移転し、3年目となる本年度は創立40周年の記念すべき年です。新病院棟は落ち着いた山吹色を配した18階建てのビルで、板橋の高台に聳え立ち免震構造に優れ、ベッド数は1,154床あります（ただし、7:1看護実現のため現在877床の稼働となっています）。さらに来年度から使用される帝京大学医療系学部新校舎（医学部・薬学部・医療技術学部）が新病院棟の隣にはほぼ完成し、帝京大学新時代を予感させるに十分な外観を呈しています。このすばらしいハードウェアを手にした現在、われわれはそれを有効に活用できているでしょうか。

### 新生「平成23年度地域医療連携委員会」

われわれはまず当院における医療連携の現状がどうなのかを把握するため「初診患者数」を分析いたしました。「初診患者数」は病床占有率や手術症例数などその病院の診療すべてに大きく影響を及ぼします。当然今までも病棟ごと・科ごとの初診患者数や紹介率が月ごとに数値化・グラフ化され、1年前のデータと比較しながら科長会議や地域医療連携委員会で提示されていました。しかしそれではその値が「満足できる」ものなのか、「不足している」ものなのかが今までは全くわかりませんでした。以下実はこの内容はほとんど医療連携室の鈴木係長にお願いしてデータを収集・分析し、当院の平成23年度地域医療連携委員会で話し合われた内容です。この委員会は佐野が委員長、そして川杉和夫先生（3期生）が副委員長として組織されており、2か月に1回定期的に委員会を開催して様々な議題につき議論していますが、それに加えてメーリングリストで随時全委員との意見交換をおこなっています。今回も委員会

の前にメーリングリストでデータを発表してそれに対する意見を集め、今年7月に行われました第二回委員会以下のような内容を話し合いました。

**現状**

表1は帝京大学病院を含めた都内の「11私立大学病院」の「初診患者数」比較表です(平成23年5月)。「初診患者数」の「紹介患者」には「救急車」を含めず、個人的に来院される方を「紹介なし」として記載しております。図1はその棒グラフです。

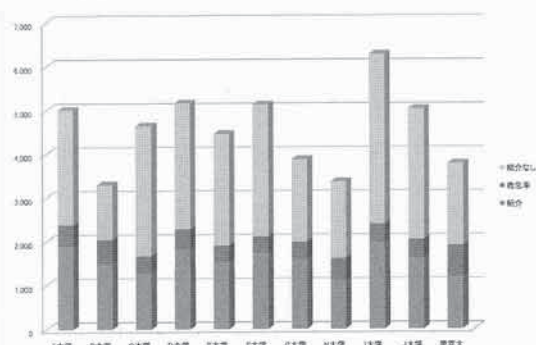


図1 平成23年5月の初診患者数とその内訳 (都内11私立大学病院)

5月はゴールデンウィークがありますので、通常外来の日数的には他の月よりも少なく、救急患者が多くなる傾向はあると予想されますが、それにしても当院は「救急車」数が非常に多く、他大学と比較しても11病院中みごと1位に輝いております。一方「紹介患者」と「紹介なし」では他大学と比較して成績は芳しくなく、「紹介患者」は10位、「紹介なし」は9位であり、結局初診患者全体としては11病院中9位となっています(表1)。

	紹介	救急車	その他	Total
A大学	1893	495	2613	5001
B大学	1492	553	1250	3295
C大学	1273	402	2962	4637
D大学	1830	457	2872	5159
E大学	1531	372	2554	4457
F大学	1748	363	3013	5124
G大学	1599	389	1880	3868
H大学	1115	498	1744	3357
I大学	1968	434	3865	6267
J大学	1611	439	2971	5021
帝京大	1188	722	1857	3767
帝京大順位	10位	1位	9位	9位

表1 都内11私立大学病院の「初診患者数」比較表

「紹介なし」にはさまざまな要因、例えば医師や病院のネームバリューや、地域的な問題(人口や病院の密集具合など)などが関与しますので、自分たちでできること(医師がマスコミの露出を増やす、ホームページなどで情報を発信するなど)は限られています。それらも地道に進めていくにしても、まずは「紹介患者」数を増やすことが当院の一番の課題であることがこの表1から理解いただけるとと思います。

**目標設定**

上述のごとく当院の「紹介患者」数は平成23年5月の1か月で1,188人、11病院中9位でした。これを1,500人に増加できれば、「紹介患者」数では11大学病院中8位になります(表2)。「初診患者」数1,500人という数字は11病院の中で7病院が達成している数であり、当院でも達成不可能な数字ではないと考えます。そのように目標を設定すると、各科の紹介患者数を月312人、外来日数23日で割ると一日現状より14人増加させる必要があります。比率でいうと現在より約25%の増加を達成せねばなりません。すなわち今まで4人ご紹介いただいていたところ5人ご紹介いただく、という設定となります。

	紹介	救急車	その他	Total
A大学	1893	495	2613	5001
B大学	1492	553	1250	3295
C大学	1273	402	2962	4637
D大学	1830	457	2872	5159
E大学	1531	372	2554	4457
F大学	1748	363	3013	5124
G大学	1599	389	1880	3868
H大学	1115	498	1744	3357
I大学	1968	434	3865	6267
J大学	1611	439	2971	5021
帝京大	1500	722	1857	4079
帝京大順位	8位	1位	8位	8位

表2 「初診患者数」増加目標値とその第一目標順位

**具体的対策**

①逆紹介の増加

目標実現のため第一に着手すべきは「逆紹介」の促進です。大切な患者さんをご紹介いただく先生方に対して、当院での治療がひと段落ついたら再びご高診をお願いすることは、再び当院へ患者さんをご紹介いただくためにも極めて大切です。



加えて地域における各病院、診療所の役割分担を明確にし、効率よく高度な医療を達成するためにも「逆紹介」は重要です。上述のごとく当院の稼働病床数は現在877床。他の10大学病院ではだいたい1,000床強であり、11大学中10番目の病床数です（ちなみにフル稼働すれば1,154床で11大学中3番目です）ので、「逆紹介」を促進して行かなければ当院の機能が停滞し役割を果たせなくなります。紹介患者さんを逆紹介する際には、情報の共有のために診療情報提供書を充実させること、また脳卒中、糖尿病、大腿骨折、がん（現時点では胃癌・大腸癌・肝臓癌・肺癌・乳癌の5大癌+前立腺）においては「連携バス」や「連携パス手帳」が作成されていますのでこれを十二分に活用することで、ご紹介いただいた先生方や患者さんに安心していただくことが可能となります。その「連携バス」の流布こそわれわれがまず行うべきことだと考えております。そして当院全スタッフに「逆紹介」の大切さを啓蒙していく所存です。

## ②「同窓会専用ダイヤル」復活！「院内スタッフ同窓会名簿」作成！「同窓会連携委員」新設！

次に当大学同窓会の先生方からのご紹介増加のお願いです。今までも多くの同窓生の先生方にたくさんのお大切な患者さんをご紹介いただき誠にありがとうございました。「紹介患者」増加のためには同窓生の先生方のさらなるご協力は不可欠です。何卒一人でも多くの患者さんをご紹介をお願いいたたく存じます。しかしその一方でわれわれの至らなさが原因で一部の先生方に大変な失礼をはたらいてしまったこともあり、深くお詫び申し上げます。大変申し訳ございませんでした。そこでそのようなことを二度と繰り返さないため、われわれは同窓生の先生方に対して三つの改善を行いました。一つは同窓会の先生方からのお電話のための専用ダイヤルの復活です。新病棟に移ってから稼働再開していなかったのが、大至急再開いたしました（03-3964-1384、「サン(3)・キュー(9)・むか(6)・し(4)、い(1)・ざ(3)・発(8)・信(4)！」）。是非大学時代など昔を思い出していただき、当院にお電話いただきたく存じます。さらにその紹介先医師探しにお使いいただけるよう、院内勤務の同窓生名簿（科別、助教以上）を作成いたしまし

た。この名簿はこの同窓会誌（あるいは次号）に掲載していただけたと思いますので、お知り合いのスタッフを見つけて是非直接ご紹介ください。あるいはお知り合いがいらっしゃらなくとも、主に帝京大学出身のスタッフが対応させていただけるよう「同窓会連携委員」を各科に決めてもらいました(表3)。当然宛先が思いつかねなければ「外来担当医」宛てでも構いませんので、是非ご紹介いただきたく存じます。重ね重ね何卒よろしくお願ひ申し上げます。

診療科	医師名	モバイル	医師名	モバイル
内科	相磯 光彦	7033	田代 晴子	7042
神経内科	塚本 浩	7069	北園 圭一	7350
外科	豊田 真之	7138	小出 泰平	7744
心臓血管外科	藤崎 正之	7689	太田 浩雄	7767
整形外科	加藤 成隆	7625	密山 久次郎	7306
産婦人科	竹下 茂樹	7155	笹森 幸文	7156
小児科	荻田 佳織	7081	久津間 弘和	7089
眼科	平石 剛宏	7232	曹 圭徹	7235
耳鼻咽喉科	秋山 清治郎	7218	若山 禎	7393
皮膚科	石川 武子	7102	根本 いずみ	7101
泌尿器科	斎藤 恵介	7241	吉井 隆	7242
精神神経科	赤羽 晃寿	7092	漆原 貴子	7094
放射線科	工富 公子	7118	治山 高弘	7376
脳神経外科	高梨 成彦	7173	渡辺 丈博	7361
麻酔科	原島 敏也	7254	高橋 隆一郎	7255
形成外科	天方 将人	7578	山岡 尚世	7196
ER	佐川 俊世	7284	高橋 宏樹	7292

表3 各科の「同窓会連携委員」

## ③診療情報提供書の充実

ご紹介いただきました患者さんに関するお返事のチェックも徹底いたしました。2週間に1回ずつ「未返事リスト」を各科に配布し、お返事が書かれているかどうか確認しております。また当院での治療が長期にわたった患者さんに対して「途中経過」の報告などタイミングをみたお返事の督促や、お返事の内容の評価・指導なども今後でき

るように体制を整えようと考えております。皆様も紹介患者さんの情報が知りたいときにはいつでも専用ダイヤル（03-3964-1384、「サン(3)・キュー(9)・むか(6)・し(4)、い(1)・ぎ(3)・発(8)・信(4)！」）にご連絡ください。主治医、あるいはその科の「同窓会連携委員」が早急にご報告いたします。

④「医療連携担当医」はじめ紹介患者さんのための環境整備

紹介患者さんの診察は経過観察の患者さんに比べると時間を要します。また予約も数日前や当日に入れることになると枠をはみ出すこともあります。そのため外来医が紹介患者さんの診察を後回しにして長くお待ちいただくことも少なくありません。それに対して現在「医療連携担当医」を各科に決めてもらい、特に当日の受診や転院の窓口になってもらうようにしています(表4)。今後はさらに一歩進めて、紹介患者さんを優先的に診

	月	火	水	木	金	土				
内科	川村 和夫	7541	藤森 新	7003	白藤 尚毅	7012	秋山 朝	7019	川村 和夫	7541
	石川 敏夫	7023	高森 和雪	7027	石川 敏夫	7023	河野 朝	7027	河野 朝	7007
	石井 太郎	7021	前田 朝美	7039	山本 雅嗣	7030	石井 太郎	7021	山本 雅嗣	7030
	当直医	7483	当直医	7483	当直医	7483	当直医	7483	当直医	7483
	藤崎 正之	7689	藤崎 正之	7689	藤崎 正之	7689	藤崎 正之	7689	藤崎 正之	7689
	整形外科(入院)	8477	整形外科(センター)当直医	8477	整形外科(センター)当直医	8477	整形外科(センター)当直医	8477	整形外科(センター)当直医	8477
	木戸 浩一郎	7154	花巻 幸文	7155	木戸 浩一郎	7154	木戸 浩一郎	7154	木戸 浩一郎	7154
	竹下 茂樹	7155	竹下 茂樹	7155	松本 泰弘	7158	竹下 茂樹	7155	竹下 茂樹	7155
	徳栄 栄治	7152	徳栄 栄治	7152	徳栄 栄治	7152	徳栄 栄治	7152	徳栄 栄治	7152
	豊田 彰史	7602	小山 隆之	7083	小山 隆之	7083	豊田 彰史	7602	小山 隆之	7083
小児科	小山 隆之	7083	豊田 彰史	7602	豊田 彰史	7602	小山 隆之	7083	百村 寿衣	7396
	百村 寿衣	7396	百村 寿衣	7396	百村 寿衣	7396	百村 寿衣	7396	百村 寿衣	7396
	萩田 佳織	7081	中村 三才	7080	中村 三才	7080	萩田 佳織	7081	萩田 佳織	7081
	渡邊 恵美子	7228	清水 聡子	7227	里深 信吾	7621	渡邊 恵美子	7228	渡邊 恵美子	7228
	胃 圭樹	7235	秋山 慶子	7233	坪井 隆政	7564	松本 浩一	7423	坪井 隆政	7423
	鈴木 雅明	7214	長瀬 尚代	7216	長瀬 尚代	7214	鈴木 雅明	7214	長瀬 尚代	7216
	持木 将人	7215	佐野 真幸	7217	長瀬 尚代	7216	持木 将人	7215	長瀬 尚代	7217
	神田 奈穂子	7099	大西 善光	7100	石川 武子	7102	神田 奈穂子	7099	石川 武子	7102
	根本 いずみ	7101	根本 いずみ	7101	石川 武子	7102	大西 善光	7100	神田 奈穂子	7099
	井上 久彌	7238	吉井 隆	7242	武藤 智	7237	山口 雷蔵	7742	山口 雷蔵	7240
乳腺科	藤原 尚子	7093	藤原 尚子	7093	藤原 尚子	7093	藤原 尚子	7093	藤原 尚子	7093
	加藤 大基	7116	徳野 伸史	7094	加藤 大基	7094	加藤 大基	7116	徳野 伸史	7092
	神武 祐	7109	神武 祐	7112	神武 祐	7110	神武 祐	7109	神武 祐	7112
	大場 洋	7115	神武 祐	7115	神武 祐	7115	大場 洋	7109	神武 祐	7112
	渡邊 大博	7361	藤井 舞穂	7320	田中 綾一	7171	藤原 毅之	7360	高梨 成彦	7173
	南部 隆	7251	南部 隆	7251	南部 隆	7251	佐々木 翼	7444	南部 隆	7251
	西山 北昌史	7470	福田 啓	7247	福田 啓	7247	西山 北昌史	7470	福田 啓	7247
	市川 義美	7195	米津 博文	7612	花上 伸明	7197	市川 義美	7195	米津 博文	7247
	植藤 良二	7209	植藤 良二	7209	植藤 良二	7209	植藤 良二	7209	植藤 良二	7209
	伊佐地 隆	7741	山本 昌義	7211	伊佐地 隆	7741	伊佐地 隆	7741	伊佐地 隆	7201
形成外科	榎本 浩一	7194	浅野 裕子	7294	榎本 浩一	7194	上原 恵理	7615	榎本 浩一	7194
	上原 恵理	7615	鈴木 収二	7295	鈴木 収二	7295	浅野 裕子	7294	鈴木 収二	7295
	斎藤 晃明	7067	松村 喜一郎	7065	園生 雅弘	7066	園生 雅弘	7065	園生 雅弘	7067
	畑中 裕己	7068	塚本 浩	7069	畑中 裕己	7068	畑中 裕己	7068	塚本 浩	7069
	ER責任者	8021	ER責任者	8021	ER責任者	8021	ER責任者	8021	ER責任者	8021
	整形外科(センター)当直医	8477	整形外科(センター)当直医	8477	整形外科(センター)当直医	8477	整形外科(センター)当直医	8477	整形外科(センター)当直医	8477
	高橋 宏樹	7292	高橋 宏樹	7302	北村 真樹	7302	高橋 宏樹	7302	北村 真樹	7302
	山口 くるつ子	7604	北村 真樹	7605	山口 くるつ子	7604	山口 くるつ子	7605	北村 真樹	7603
	谷口 集人	7603	中澤 佳穂子	7607	石川 秀樹	7760	石川 秀樹	7607	石川 秀樹	7606
	佐々木 勝歌	7302	北村 真樹	7286	北村 真樹	7286	北村 真樹	7605	佐々木 勝歌	7302

表4 各科の「医療連携担当医」



察できるように、外来予約システムを改良したり、逆紹介の推進により経過観察の患者さんを減らしたり、一次診療は近医を受診していただけるように地域の皆さんへの啓蒙活動を行ったりしたいと考えております。

#### ⑤地域の先生方との交流

地域の先生方にもわれわれの診療の現状を知っていただくことも大変重要だと考えております。現在各科で行っている各種セミナーをはじめ、帝京がんセンターが主催する帝京がんセミナーなど今後も積極的に当院での治療内容をアピールする場を設けたいと考えております。また今年は「第一回帝京大学医療連携セミナー」を10月1日に当院にて行う予定にしております。皆様がこれをお読みになっていらっしゃる頃はすでに終わっているかと思いますが、近隣の300人以上の先生方をお招きして、「耐性菌を封じ込めろ！」というメインテーマでの講演会とそれに続く懇親会を企画しています。近隣の同窓会の皆様にも多数ご参加していただけるとのお返事を頂いており、皆様にお会い出来るのを楽しみにしております。とにかく皆様と院内スタッフとの交流をサポートできるよう様々な工夫を凝らします。結果報告はまたの機会にさせていただきます。存じます。

### 3、その他の医療連携活動

医療連携・相談部において「医療連携室」の他にも、「看護相談室」「医療福祉相談部」があります。それぞれ当院の医療連携を活発にすべくいろいろな活動をしています。平成22年度実績としては毎月約400件の相談を受けており、うち患者からの相談が約3割、家族からの相談が約4割で、約半数が在宅医療や地域医療機関紹介などの相談でした。

常駐看護師の増員と「夜間がん相談窓口」の開設！  
～看護相談室～

「看護相談室」では①在宅療養相談・看護指導 ②受診相談 ③精神的援助(患者・家族) ④他の医療機関との連携 を目的としています。それに加えて、今年度から看護相談室では常駐看護師数を3名から5名に増員して機能をさらに充実させ、担当医と地域医療機関との緻密な打ち合わせを仲介しつつ、速やかにかつスムーズな在宅療

養の実現や他院の受診の調整など業務を遂行しています。特にこの度新たに「患者そして家族」の希望に応えるべく、月曜日と金曜日の週2回、21時まで「夜間がん相談窓口」も開設いたしました(平成23年5月2日から)。

病棟出張と「連携バス」の普及！～医療福祉相談室～

さらに「医療福祉相談室」の5人のソーシャルワーカーが看護相談室をサポートしつつ、またソーシャルワーカーが中心となって経済的問題の解決・調整援助や退院・社会復帰の援助を行っています。2010年9月から、ソーシャルワーカー5人が病棟に出向き、各病棟の入退院の状況を把握しながら高齢者の入院後、病棟スタッフと協力し「退院支援スクリーニング」(シート作成)を行い、心理・社会的問題の把握に努めています。また2010年9月から、当相談室よりER/救命救急センターのカンファレンスにも毎日出席して、入院と同時に心理・社会的問題を把握して、即座に関係機関との連絡調整などを行って、緊急事態に陥っている患者・家族への総合的な相談窓口としての役割を果たしています。脳卒中バスや大腿骨骨折バスの普及にも努めており、近日中に医療福祉相談室へ1人増員を予定しています。

### 4、おわりに

創立40周年の今年、帝京大学医学部附属病院の医療連携は変わります。今まで以上に地域の医療機関と密接に交流することにより、当院と地域医療機関との双方の病院機能を最大限生かせるような、相互的・有機的な病診連携を構築していきます。その上で同窓会の皆様のご協力は必須です。一人でも多くの患者さんをご紹介いただきたくお願い申し上げますとともに、今後とも皆様方の厳しくも温かいご指導を何卒よろしくお願い申し上げます。少しでもお気づきの点がございましたら、専用ダイヤル(03-3964-1384、「サン(3)・キュー(9)・むか(6)・し(4)、い(1)・ぎ(3)・発(8)・信(4)！」)、あるいは佐野の直通電話(03-3964-1241)にすぐお電話くださいますようお願い申し上げます。